



乃木小だより

～ かしこく つよく やさしい子 ～

～まつえ湖南学園～

松江市立乃木小学校

令和5年4月20日

(文責)校長 野津

= 令和5年度が始まりました =

今年の春は幾分ソメイヨシノの開花が早く、町のあちこちで鮮やかに目に映る道端の芝桜もすでに盛りが過ぎていきそうです。例年よりも季節を先取りした若干暖かい空気を感じながら、全校児童886名、教職員69名、今年度の乃木小学校が動き始めました。

4月10日(月)の始業式で2年生以上がそろった体育館では、進級したことを自覚した子どもたちの凛々しい姿とワクワク感が漂っていました。11日(火)の入学式には26名の来賓の方々を迎え、6年生が参列し、途中2年生が歌や鍵盤ハーモニカの演奏で149名の新入生に歓迎の気持ちを伝えました。新入生のみんなは、緊張感を漂わせながらも笑顔で入場し、一人一人が学級担任の呼名に気持ちを込めた自分らしい返事で応えていました。

このたび赴任したばかりの私(校長)も元気をもらいました。皆様、これから多方面にわたってお世話になります。どうぞよろしく願いいたします。



= 目あてを意識して ～めざすところ 目をそらさずに～ =

始業式のなかでは、童話「ウサギとカメ」の話をしました。「なぜウサギにカメが勝ったのか」です。それは、「見ていたものが違ったから」です。山のふもとまで行きつくことが目的なのに、ウサギが見ていたものはカメだったのです。ウサギは後ろのカメを見ていたので到着前に休んでしまったのです。一方、カメが見ていたのは山のふもとです。ウサギを気にせず、ひたすらゴールをめざして進み続けました。もし、カメが居眠りしているウサギを見ていたのなら、油断して歩みを止めて負けていたかもしれません。

乃木小の子どもたちに伝えたかったのは、自分のめあてを明確にしてそれに向かってコツコツとしっかり努力を重ねることの価値や必要性です。まず、今始まる「新しい学年」における自分のめあてを明確に抱くこと。そして、めあてを意識し続けること。日々の生活の中で最初に決めためあてが頭から離れることはありがちですが、たとえそんな時があったとしても、ぜひ今の新鮮な気持ち、自分が決めためあてを思い起こし、その目標に向かって毎日を有意義に過ごしてほしいと願っています。

素晴らしい1年になりますように！



乃木小学校は、ご承知のとおり、県内で最も児童数の多い学校です。子どもたちは自分の学級だけでなく、大規模校ならではの組織を生かした教育活動を展開しています。一人一人がこれからのいろいろなことを体験し、その中で試行錯誤し、いくつもの学びを繰り返しながら成長していきます。自分の頑張りに自信をもって、充実した日々を重ねていけるよう、乃木の地域の力を存分に活用しつつ、教職員一同（下記 一覧参照）、力を合わせて精いっぱい努力いたします。

今年度の乃木小学校の学校教育目標は、「**未来に向かって ひとみかがやき 笑顔あふれる乃木っ子の育成**」です。この学校教育目標に向かって全ての教育活動を展開していきます。みんなで目をそらさずに取り組んでいきたいと思っています。

そして、この目標のもと、ねらっている「めざす姿」は以下のとおりです。

☆ めざす児童像

○かしこい子

確かな学力を身につけ、知恵を働かせて自分で行動する子ども

○つよい子

たくましい心と体を持ち、ねばり強く取り組む子ども

○やさしい子

思いやりを持ち、集団の中で助け合える子ども

☆ めざす学校像

○安心して学べる学校

子どもが「行きたい」と思う

○信頼される学校

保護者が「通わせたい」と思う

○よさが発揮できる学校

地域が「応援したい」と思う

☆ めざす教職員像

○笑顔で協働できる教職員

○信頼を築き、温かい人間関係を育む教職員

○学び続ける教職員

「かしこく」「つよく」「やさしい」毎日が送れるよう、これまで同様、保護者の皆様、地域の方々と心を寄せ合い、手を取り合って学校教育を進めてまいりたいと思います。

引き続き、格別のご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

保護者の皆様に職員一覧を掲載し配布しています